



新潟大学長
長谷川 彰

卒業生、大学院修了生及び 退職する教職員の皆さんへ

平成15年の早春に新潟大学を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、ならびに退職される教職員の皆さんに、心からお祝い申し上げます。

卒業生ならびに大学院を修了される皆さんには、これまで皆さんを支えてこられた家族や友人、先輩たち、お世話になった地域の人々、ご指導下さった先生方など、学生時代にであった多くの人々への感謝の気持ちを、あらためて思い起こしていただきたいと思います。皆さんの中には、さらに大学院で学究生活を続けられる方もおられますが、大多数の方々は大学に別れを告げ、実社会へ旅立たれます。グローバル化が進み、しかも目まぐるしく移り変わる現代社会にあって、皆さんは常に冷静に、かつ多面的に世の中をとらえることのできる国際感覚を身につけていただきたいと思います。新潟大学では、社会性と国際性を重んずる教育を教育目標の一つにかかげ、皆さんとともに目指してきましたが、今後とも社会の動向に常に強い関心を抱き、今おかれている世界情勢をしっかりを見据える洞察力を培っていただきたいと願っております。



退職される教職員の皆さんは、永年にわたり新潟大学の発展に尽くして下さいました。皆さんの中には、新潟地震、五十嵐キャンパスへの統合移転等々、いくつかの激動の時期を乗りきってこられた方々もおられます。現在、五十嵐・旭町両キャンパスでは、老朽化した校舎の改修工事や新しい建物の建築が進められており、これまでの様相が一変しようとしています。ここに至るまでの発展をさまざまな側面から支えて下さった皆さんのご尽力に深く敬意を表し、心から御礼申し上げます。

現在の高齢化社会の中で、退職される教職員の皆さんはまだまだ若い年齢層に属しています。皆さんがこれまでに培ってこられた知識と技術

皆さんは常に冷静に、かつ多面的に
世の中をとらえることのできる国際感覚を
身につけていただきたいと思います。



でもって、これからも世の中に貢献できることは多々あるように思われます。今後とも健康に留意され、ご活躍されることを心からお祈り申し上げます。この4月から新潟大学では、退職教員に学生教育の面でご支援いただくため、「教育支援員」の制度を新たに設けることになりました。退職される教員の皆さんには、引き続き学生たちを指導していただきたいと願っております。

現在、社会が大きく変化する中で、大学も改革を強く求められています。平成16年4月に予定されている国立大学の法人化を前にして、新潟大学では教職員が一体となって法人化に向けた準備を粛々と進めているところです。大学が飛躍的に発展する機会と受け止め、未来を見据えた将来設計に基づき一歩一歩改革を進めていきたいと思っております。

新潟大学で行われている教育研究活動を広く公開しつつ、社会の発展に貢献することも大きな役割であると考えております。永年にわたって蓄積された大学の知的財産に一般市民や産業界の方々にも触れていただきたいと、これまでも各種の公開講座の実施、旭町学術資料展示室での学術資料や研究成果の公開、地域共同研究センターを通しての産学連携などに努めてきましたが、さらに、平成15年2月1日に新潟駅南キャンパス“クリック”を開設し、生涯学習や産学連携への支援をより一層効果的に実施する運びとなりました。

皆さんには、これからも健康に留意され、新潟大学を去られた後も、ぜひ機会あるごとにキャンパスに立ち寄られ、今後の発展ぶりを見ていただきたいと願っております。ここに人生の一つの区切りを迎え新たに出発される皆さんに、あらためて心からお祝い申し上げます。

